

留学現地レポート

21014052 坂井 静華

9月1日から12月25日の約4ヶ月間、韓国のソウルにある경희대학교(キョンヒ大学)に留学をしてきました。現地の韓国へ行くことで様々な人と触れ合え、より深く学べるため今回留学をすることを決めました。様々な不安もありましたが、自分の世界を広げ、語学の向上や異文化理解を目指して隣の国である韓国へ行きました。

この4ヶ月は約3週間と3ヶ月のプログラムに分かれています。初めの3週間は、ほぼ日本人だけのクラスで初級1を学び、韓国人の先生からすべて韓国語で授業を受けました。最初の授業では、まだ韓国語を習って1年の私にとって流暢な韓国語を聞き取り、理解することが難しく大変でしたが、周りに日本人が多かったので、慣れない授業でも楽しく受けることができました。月曜日から金曜日の午前中の授業は、9時から13時まで50分授業が4コマあり、文法、リーディング、スピーキング、ライティング、リスニングの5科目を学び、金曜日を除く月曜日から木曜日の午後の授業は14時00分から15時30分まで、ゼミナール(文化)、歌、韓国事情、映画を学びました。ゼミナールでは韓国の文化を知り、一つのテーマを選び日本との比較をしながら発表をしました。韓国事情の授業では、韓国の有名なスポーツであるテコンドーを体験したりチャングという太鼓のような楽器を演奏したり韓国だからできる様々な経験をし、授業の一環である現地学習でも韓国の有名な場所へ行き韓国を堪能しました。

そして新たに世界各国から来た人たちと学ぶ初級2が始まると、授業形態は変わりませんが、授業内容がさらに難しくなったと同時にクラスでも日本語が通じない環境へ変化したことで不安ばかり感じていました。しかし、授業でもクラスメイトとも積極的に韓国語で話し努力したおかげでクラスメイトとはすぐに打ち解け、授業以外でも関わるほど仲良くなりました。テストが近くなれば図書館で勉強し、とても充実した学校生活を送ることができました。

この4ヶ月間の留学を通して、言語や文化を学んだと同時に私自身成長することができました。困ったときには、トウミというキョンヒ大学の学生や先生、友人から助けをもらい、充実した4ヶ月を送ることができました。韓国では日本と違う点がいくつかあり、受け入れるのに大変だったこともありましたが、多くの人に出会い、たくさんのことを学び、素晴らしい経験となりました。この経験を生かして、これからも何事にも努力し挑戦していきたいです。